

機関ごとの取組状況

番号	機 関 名	取組状況
1	奈良市	
2	大和高田市	
3	大和郡山市	
4	天理市	
5	橿原市	
6	桜井市	
7	御所市	
8	生駒市	生駒市総合防災マップ(2023保存版)の配布
9	香芝市	
10	葛城市	
11	平群町	
12	三郷町	惣持寺地区調整池整備工事
13	斑鳩町	
14	安堵町	防災ハザードマップの更新
15	川西町	
16	三宅町	
17	田原本町	防災出前講座の実施(防災課、まちづくり建設課) 雨水貯留施設2箇所
18	高取町	
19	明日香村	
20	上牧町	
21	王寺町	
22	広陵町	
23	河合町	
24	大淀町	大淀町出前講座
25	奈良県	水害リスク空白域の解消 水害に備えての出前講座
26	近畿日本鉄道 株式会社	
27	西日本旅客鉄道 株式会社	
28	奈良地方気象台	
29	近畿地整 大和川河川事務所	WEBホットラインの運用方法(案)の確認

取組機関名	生駒市
具体的取組	生駒市総合防災マップ（2023保存版）の配布
主な内容	市民の方の防災意識の向上や災害への事前の備えを心がけていただくことを目的とし、今まで災害種別（土砂災害、洪水、ため池決壊）ごとに作成していたハザードマップを1冊にまとめた防災情報冊子「生駒市総合防災マップ2023保存版」を生駒市内約5万世帯に配布した。

○生駒市総合防災マップ配布概要

- 時期：令和5年6月に配布完了
- 対象：生駒市内の約50,000世帯

○生駒市総合防災マップ（2023保存版）



三郷町の取組状況 (惣持寺地区調整池整備工事)

取組機関名	三郷町
具体的取組	惣持寺地区調整池整備工事
主な内容	大和川の水位上昇に伴う溢水箇所（惣持寺地区）の内水対策工事を実施中。

○概要

- ・平成29年10月に発生した台風21号による大雨の影響により、町内各地で内水被害が発生したことから、これらの被害を解消、若しくは軽減すべく、実現可能な対策案の検討を行った。その中でもこの惣持寺地区での調整池築造工事は町内でも最大規模の内水対策工事となる。
- ・惣持寺地区においては、浸水面積約30,000㎡、床上浸水11棟、床下浸水14棟の被害が発生した。
- ・令和4～5年度においては、惣持寺地区において地下調整池（計画貯水量16,500㎡）を整備中。

○報告書

惣持寺地区において地下調整池を整備中。

当時の被害状況写真



施工中写真（令和5年11月時点）



○今後の予定

- ・地下調整池は今年9月末に完成予定。
- ・地下調整池付近の雨水管渠整備は令和6年度から令和7年度にかけて施工予定。
- ・地下調整池完成後は、地下調整池の上面利用を計画中。

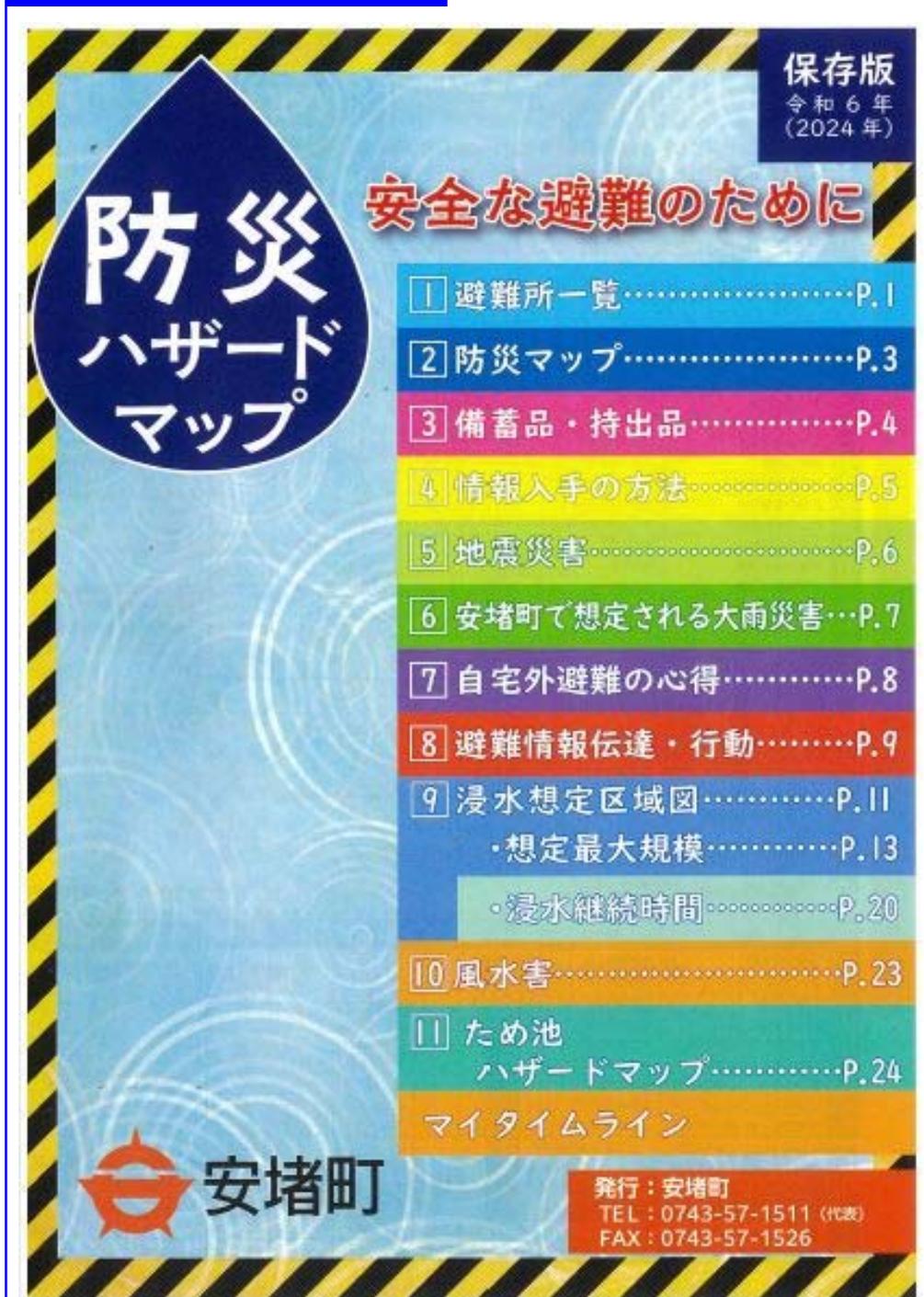
安堵町の取組状況 (減災対策協議会担当者会議)

取組機関名	減災対策協議会構成メンバー（安堵町）
具体的取組	防災ハザードマップの更新
主な内容	奈良県が水位周知河川以外の中小河川の想定最大規模に対応した浸水想定区域を2023年5月に発表したため、本町における対象河川に係るものを洪水ハザードマップに追加し更新を予定。

○対象河川について

- ・発表日時：2023年5月30日
- ・対象河川：岡崎川、三代川、秋葉川
- ・更新予定：2024年3月
※現在、鋭意更新作業を行っており出水期までに全戸配布を予定しています。

○更新予定防災ハザードマップ



保存版
令和6年
(2024年)

防災ハザードマップ

安全な避難のために

- 1 避難所一覧……………P.1
- 2 防災マップ……………P.3
- 3 備蓄品・持出品……………P.4
- 4 情報入手の方法……………P.5
- 5 地震災害……………P.6
- 6 安堵町で想定される大雨災害…P.7
- 7 自宅外避難の心得……………P.8
- 8 避難情報伝達・行動……………P.9
- 9 浸水想定区域図……………P.11
・想定最大規模……………P.13
・浸水継続時間……………P.20
- 10 風水害……………P.23
- 11 ため池
ハザードマップ……………P.24

マイタイムライン

発行：安堵町
TEL：0743-57-1511（代表）
FAX：0743-57-1526

安堵町

○現行防災ハザードマップ



保存版
令和5年
(2023年)

防災ハザードマップ

安全な避難のために

- 1 避難所一覧……………P.1
- 2 防災マップ……………P.3
- 3 備蓄品・持出品……………P.4
- 4 情報入手の方法……………P.5
- 5 地震災害……………P.6
- 6 安堵町で想定される大雨災害…P.7
- 7 自宅外避難の心得……………P.8
- 8 避難情報伝達・行動……………P.9
- 9 風水害……………P.11
- 10 浸水想定区域図
(想定最大規模)……………P.12
- 11 浸水想定区域図
(浸水継続時間)……………P.22
- 12 ため池
ハザードマップ……………P.24

防災メモ

安堵町

発行：安堵町
TEL：0743-57-1511（代表）
FAX：0743-57-1526

田原本町の取組状況 (防災出前講座の実施)

取組機関名	田原本町（防災課）
具体的取組	防災出前講座
主な内容	防災出前講座及びマイ・タイムラインの作成

○日時・参加機関

- ・日時：2023年10月13日（金）
- ・場所：田原本町ふれあいセンター
- ・参加者：ふれあいセンター利用者
- ・概要：ふれあいセンターにおいて、防災意識の向上及び防災知識の普及を目的に防災出前講座を実施した。地震、水害、避難について、災害から身を守る、自助・共助・公助について講座を行った。また参加者全員に町が作成したマイ・タイムラインを記入してもらい、自身の周りのリスク等を認識してもらった。講座終了後、アルファ化米を試食してもらい、非常に好評であった。

○出前講座の様子



○マイ・タイムライン

田原本町の取組状況 (防災出前講座の実施)

取組機関名	田原本町（防災課）
具体的取組	防災出前講座
主な内容	水害について

○日時・参加機関

- ・日時：2023年6月29日（木）
- ・場所：田原本町立南幼稚園
- ・参加者：園児（約50名）
- ・概要：園児に対し、雨が降ったらどうなるか、水害とは何かをイラストを使い、園児にも分かるよう工夫し講座を行った。またクイズを行い、園児に興味を持ってもらうようにした。

○出前講座の様子



○資料（クイズ）

問題 1



- ① まわりにきをつけてはやくかえる
- ② そらを見あげながらかえる
- ③ きにせずのんびりかえる



幼稚園から帰るとき、急に暗くなってきた。
空を見たら、真っ黒で大きな雲が見えたよ。
どうしたらいいかな？

田原本町の取組状況 (防災出前講座の実施)

取組機関名	田原本町（まちづくり建設課）
具体的取組	災害学習による地下貯留施設の見学
主な内容	水害対策授業・社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設見学

○日時・参加機関

- ・日時：2023年11月10日（金）・11月14日（火）・11月17日（金） 3クラスを3日間に分けて実施
- ・場所：田原本小学校3年生
- ・参加者：児童（約100名）
- ・概要：令和3年に整備完了した社会福祉協議会駐車場の地下にある貯留施設を見学し、施設のしくみや必要性についての学習を行い、実際に地下貯留施設の中に入り、貯留施設の大きさを実感してもらい、ポンプを運転して水が流入するところや排出するところを見学してもらった。また座学では、なぜ田原本町で水害が発生するのかについて、過去の水害や田原本町の地理的特徴を説明し、貯留施設に水をためるしくみや田原本町で生活する住民のために貯留施設が必要であることを学習してもらった。

○見学・座学の様子



○資料（座学）

水害は、なぜおきるのか？

→大雨で川の水の量がふえるから



川の水はなぜふえるのか？

→川のせまいところがあり、流れが悪くなっているから

例えば、車の渋滞




川のせまい所→亀の瀬
奈良県の川(156本)




亀の瀬

P2

昔の水害

今から6年前の平成29年、みなさんが小学校に入る前に台風21号の大雨で水害がおきました。

日降水量・・・234.5mm
床上浸水・・・10棟
床下浸水・・・46棟



田原本小学校

地下貯留施設

道路からどれくらい水が上がったか？
①50cm? ②70cm? ③100cm?

答え、②70cm




P5

田原本町の取組状況 (雨水貯留施設2箇所)

取組機関名	田原本町（まちづくり建設課）
具体的取組	雨水貯留施設の建設（奈良県平成緊急内水対策事業）
主な内容	浸水常襲箇所の解消のため、雨水貯留施設の建設

○概要

平成29年の台風21号で、田原本町を含め大和川流域の広範囲で内水被害が発生し、内水対策（流域貯留事業）の重要性・必要性を再認識

↓

平成30年5月に奈良県主導により、大和川流域内における内水被害地区の解消にむけた奈良県平成緊急内水対策事業が発足

↓

令和元年10月 社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設 起工

令和3年3月 社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設 竣工

↓

令和3年 雨水貯留施設の2箇所となる旧県水資材置場雨水貯留施設 起工

令和5年 旧県水資材置場雨水貯留施設 竣工

○社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設

総貯留量 5,000m³（表面貯留除く）

構造 プレキャスト式雨水地下貯留施設

諸元 ①貯留量 3,873m³

設置面積 1,148m²

内空高 4.0m

②貯留量 1,127m³

設置面積 497m²

内空高 3.0m

R5.6/2 大雨洪水警報発表時

初稼働 貯留施設周辺で床下浸水等の被害なし。効果があったと所見する。

R5.6.2



○旧県水資材置場雨水貯留施設

諸元 貯留量 8400m³

設置面積 約2,500m²

堤高 3.3m

R5.6/2 大雨洪水警報発表時

工事中であったが緊急的に稼働。

貯留施設周辺で床下浸水等の

被害なし。効果があったと所見する。

R5.6.2



大淀町の取組状況 (大淀町出前講座)

取組機関名	大淀町
具体的取組	住民に対する出前講座（風水害）
主な内容	ハザードマップの見方、防災情報について、防災情報の入手先、避難行動について（水害時の避難方法、垂直避難、水平避難）、備蓄について、マイタイムラインについて

○日時・概要

- ・日時・対象：①2023年9月5日（火）大淀町中央女性学級（社会教育団体）
②2023年11月5日（日）中増区（自治会）
③2023年11月12日（日）吉野平区（自治会）
- ・概要：令和5年度は全国的に水害による被害が多く発生したことから、水害についての出前講座の依頼が多かったため、防災の基本的な内容を中心に、水害・土砂災害の危険性、避難方法や情報収集の方法(キキクルの紹介)など、より具体的な内容で講座を行いました。

○工夫した点

- ①令和3年に作成した町ハザードマップを参加者全員に配布。改めて自宅周辺の危険区域や避難場所について確認をしてもらった。
- ②9月5日実施の防災出前講座では、マイ・タイムラインの様式を配布。その場で、開設を交えながら、参加者にマイ・タイムラインを作成してもらった。

○工夫した点



ハザードマップの見方
地図上で、色が塗られていたり、色枠で囲われているところが危険ゾーン

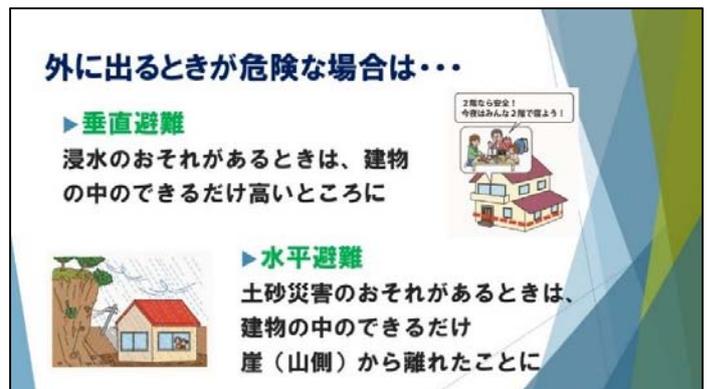
洪水
土砂災害

16ページを拡大



防災情報入手先(国土交通省の川の防災情報)
川の増水状況やダム情報がリアルタイムで確認できる

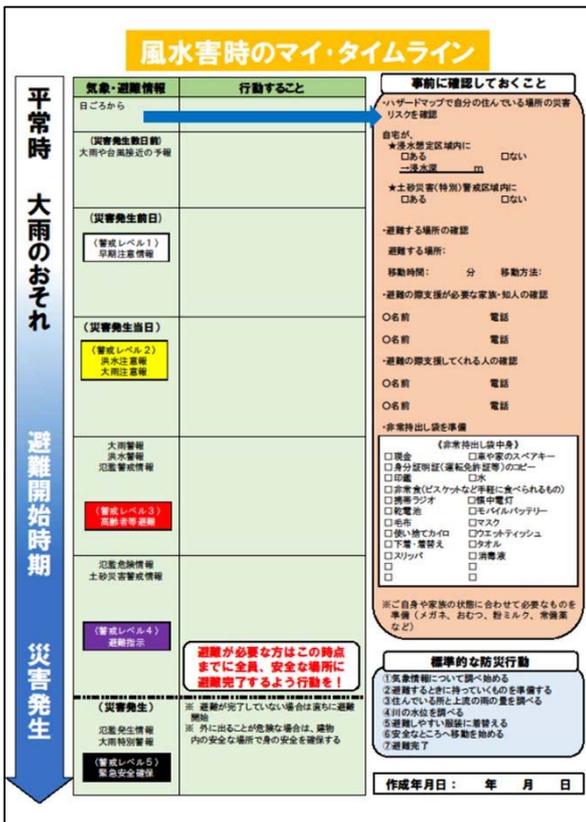
インターネットで検索 **川の防災情報**



外に出るときが危険な場合は・・・

▶ **垂直避難**
浸水のおそれがあるときは、建物の中でできるだけ高いところに

▶ **水平避難**
土砂災害のおそれがあるときは、建物の中でできるだけ崖（山側）から離れたところに



風水害時のマイ・タイムライン

平常時
大雨のおそれ
避難開始時期
災害発生

事前確認しておくこと

自宅が
★洪水想定区域内に
□ある □ない
一歩水害 □
★土砂災害(特別)警戒区域内に
□ある □ない

避難する場所の確認
避難する場所：
移動時間：分 移動方法：
避難の際支援が必要な家族・知人の確認
○名前 電話
○名前 電話
○名前 電話
○名前 電話
○名前 電話
・非常持出し袋を準備

【非常持出し袋の中身】
□現金 □家や車のスペアキー
□身分証明書(運転免許証等)のコピー □水
□印鑑 □非常食(ビスケットなど手軽に食べられるもの)
□携帯ラジオ □懐中電灯 □モバイルバッテリー
□乾電池 □マスク □タオル
□おしぼり □ティッシュ □下着・着替え
□スリッパ □消毒薬 □
□

※ご自身や家族の状況に合わせて必要なものを準備(メガネ、おむつ、粉ミルク、常備薬など)

標準的な防災行動

①気象情報について調べ知る
②避難するときに持っていくものを準備する
③住んでいる階と上流の雨の量を調べる
④川の水位を調べる
⑤避難しやすけい所に集合する
⑥安全なところへ移動を始める
⑦避難完了

避難が必要な方はこの時点までに全員、安全な場所に避難完了するよう行動を!

※ 避難が完了していない場合は速ちに避難開始
※ 外に出ることが危険な場合は、建物内の安全な場所で身の安全を確保する

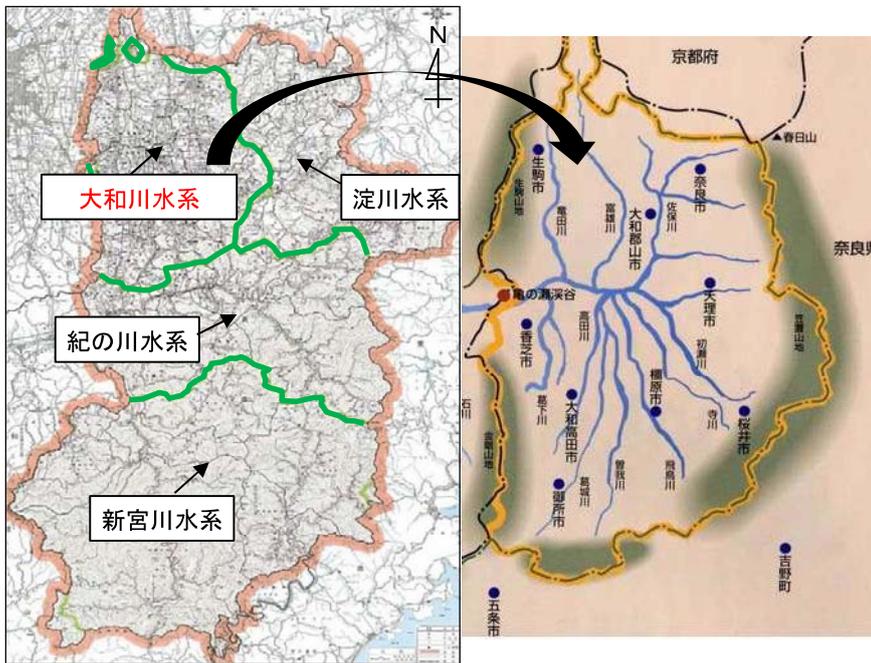
作成年月日： 年 月 日

奈良県河川整備課の取組状況 (水害リスク空白域の解消)

取組機関名	奈良県河川整備課
具体的取組	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
主な内容	中小河川の浸水想定区域図の作成

○奈良県の洪水浸水想定区域図作成

水防法改正（R3年）により、浸水想定区域図作成対象が水位周知河川以外のその他河川まで拡大されたことを受けて、奈良県管理のその他河川について想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図作成を行い、水害リスク空白域の解消を図る。



大和川水系内では奈良県の人口の約85%（約110万人）が暮らしており、人口集中地帯となっています。

大和川水系内に流れる県管理河川158河川について、令和5年5月30日に洪水浸水想定区域図を作成し、公表を行った。

○事業実施効果

県管理の中小河川の洪水浸水想定区域図作成については令和5年5月30日に完了。浸水想定区域図の情報を基に市町村は今後、洪水ハザードマップ作成・更新を進める予定。

＜洪水浸水想定区域図※(国、都道府県)＞



＜洪水浸水想定区域の指定＞

想定しうる最大規模の降雨による浸水が想定される区域、その水深及び浸水継続時間等について、河川管理者が指定

＜洪水ハザードマップ(市区町村)＞



＜洪水ハザードマップの作成・周知＞

市町村において、水害時の住民避難に活用するために、浸水想定区域や浸水深、避難場所・経路、地下街等、要配慮者施設等の情報を示した洪水ハザードマップの作成・周知を行う。

奈良県河川整備課の取組状況 (水害に備えての出前講座)

取組機関名	奈良県河川整備課
具体的取組	防災教育や防災知識の普及に関する事項
主な内容	教育機関や地域を対象とした水害境域の実施

○日時・参加機関

「水害に備えて」というテーマで防災教育や防災知識の普及に関する出前講座を実施。講座内容は大和川大水害を事例に写真を使って水害の概要を紹介し、水害に対する県の取組も伝えた。また、早期避難のために災害情報や避難グッズの準備の重要性を説明した。最後に自助・共助・公助を紹介し、災害への備えについて大切な心構えを伝えた。また、開催地に合わせた洪水ハザードマップを用意し、浸水範囲や避難場所を紹介した。

令和5年度実績

○令和5年 5月11日

参加団体：東王塚 若葉会サロン 参加人数10名

○令和5年10月31日

参加団体：川西小学校 参加人数69名

○令和5年11月21日

参加団体：田原本小学校 参加人数97名

○令和6年 1月26日

参加団体：高田地区民生児童委員協議会 参加人数21名

○学習の様子

川西小学校の様子



田原本小学校の様子



大和川河川事務所の取組状況 (減災対策協議会担当者会議)

取組機関名	減災対策協議会構成メンバー
具体的取組	WEBホットラインの運用方法(案)の確認
主な内容	WEBホットラインの運用ルール(実施タイミング、令和5年台風第7号での試行的取組、出水時の情報提供内容など)、流域タイムラインの更新(案)に関する共有・意見の確認

○日時・参加機関

- ・日時：2023年11月17日(金)
- ・場所：大和川河川事務所(WEB併用)
- ・参加機関：大和川河川事務所を含め 38機関で実施しました。
 【対面】大阪府、大阪市、堺市、松原市、橿原市、三郷町、西日本旅客鉄道(株)
 【WEB】大阪管区气象台、大阪府、大阪市、堺市、八尾市、柏原市、藤井寺市、東大阪市、大和川右岸水防事務組合、奈良県、奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、平群町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、高取町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、大淀町、近畿日本鉄道(株)、大阪市高速電気軌道(株)、阪神電気鉄道(株)、阪堺電気軌道(株)
- ・概要：台風接近時などの出水対応時に、減災対策協議会構成機関の防災対応等を支援するため、WEB会議ツールを活用し、危機感の共有を図っています。令和5年台風第7号では、急激な水位上昇が生じた令和5年台風第2号の状況を踏まえ、試行的に①近畿地方に上陸する台風進路予測による早めのWEB会議接続、②3時間おきの水位予測情報の共有、を実施しました。次年度以降も円滑にWEBホットラインを実施するため、WEBホットラインの運用方法及び試行的に実施した項目、流域タイムラインの更新(案)等について説明し、構成メンバーの意見を確認しました。

○減災対策協議会担当者会議の様子



○当日出た意見

- 【WEBホットライン全体について】
 - ・WEBホットラインは良い取り組みだと感じた。
- 【WEBホットラインの運用について】
 - ・ひっ迫している状況下で会議の参加は困難となることも考えられるため、WEBホットラインで用いた資料の配布をしていただきたい。
- 【流域タイムライン更新(案)について】
 - ・段階的な洪水予報の発表は自治体にとっては対応の生命線であり、自治体にとって洪水予報をとり逃すということはあってはならことであるため、段階的な洪水予報の発表をお願いしたい。
 - ・急激な水位上昇について流域タイムラインに反映されていれば、情報共有や引き継ぎの際に有効であると思われるため、反映いただきたい。
- 【その他意見】
 - ・大阪府管理河川で作成しているタイムラインでは、出水後にチェックリストで行動を検証しているの、流域タイムラインでも出水後の検証を取り入れることも検討いただきたい。

○今後の予定

減災対策協議会担当者会議および会議後のアンケートの意見を踏まえ、『WEBホットライン運用方法』・『流域タイムライン』を更新する。更新内容については、令和5年度末の減災対策協議会担当者会議で周知し、令和6年度の出水期からの運用を目指す。

○担当者会議後のアンケート結果・意見(一部抜粋)

【WEBホットラインの情報提供内容について】

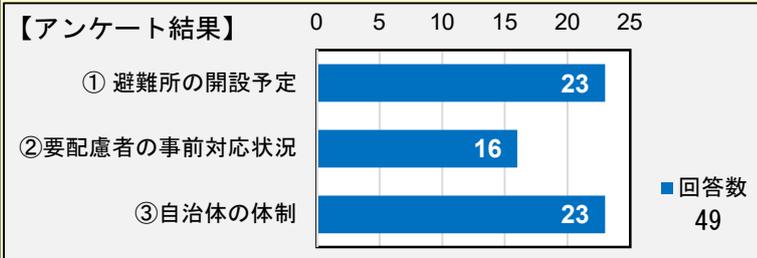
水象情報について必要な情報や大和川沿川でリアルタイムカメラ映像により確認したい情報等があれば教えてください。



＜アンケート意見(一部抜粋)＞

- ・水防活動のリアルタイム映像

【河川事務所からの情報提供後に、WEB会議の場を活用し、流域自治体や鉄道事業者間で共有したい情報について】
WEB会議の場で共有したい情報について、教えてください。



＜アンケート意見(一部抜粋)＞

- ・状況によりますが、時間的余裕があるようであればWeb会議の場を活用させて頂き、市町村間の情報共有の場にもさせて頂けたらと思います。